

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和7年8月8日
タイトル	「浅瀬石川水の旅」
水土里レポーター名	水土里ネット板柳東部 事務局長 田中昌吾

令和7年6月16日（月）青森県土地改良事業団体連合会、青森県西北農林水産事務所などの関係機関の協力のもと、板柳町立東小学校の4年生9名、板柳町立小阿弥小学校の4年生15名が「浅瀬石川水の旅」を行いました。

毎日のように目にしている田んぼや畑では、遠い昔から多くの人達の知恵や工夫によって長い間大切な「水」を上手に利用し、お米や野菜に触れてきました。そんな大切な「水」はいったいどこから来るのか？この疑問を解決するために私たちの住む地域に流れてくる「水」についてダムや頭首工などの施設を見学して勉強する目的で開催されています。

当日は各学校での出発式を行い、元気にバスに乗り、バスの中では水の旅に関するクイズを行いながら最初の目的地である浅瀬石川ダムに向かいました。

浅瀬石川ダムについて職員の方からダム内での注意事項を聞き、ヘルメットを装着後、ダム堤体内を実際に歩いて見学しました。ダム堤頂部では、ダムの役割や現在の貯水量などの説明を受けました。その後、隣接する資料館内で3D立体映像を見てダムの役割や構造などを勉強し、県土連の方から「水循環システム」を学びました。紙芝居で水循環システムについて、わかりやすく教えてもらい子供達も聞き入っていました。

次に、浅瀬石川第1頭首工の見学。頭首工までバスで行けないので途中で降りて遊歩道で徒歩移動。頭首工では、その役割や構造「魚道」という魚の通る道など教えてもらいました。

午後は、樋の口浄水場の見学。薬品沈殿池は、川の水を取水したあとにゴミなどを取り除くための施設で、プールに入る時の匂いがしていました。次に、取り切れなかった小さな不純物を、砂や砂利の層できれいにろ過するための急速ろ過池を見学しました。その後実際に川の水を石や砂利などで作った簡易ろ過装置でろ過する実験を行い、日常の生活で使っている水を作る過程や仕組みを学びました。

最後に、五幾形揚水機場の見学。揚水機場ではウォッチマンゲートやポンプ設備、除塵機の役割や構造などを勉強してもらいました。

この旅で子どもたちは、講師の方から教えてもらったことをメモし、分からないことや疑問に思ったことを積極的に質問して、自分たちの身近にある「水」が、どのように田畑へ流れてきているのかをよく理解出来たと思います。



浅瀬石川ダムの見学①



浅瀬石川ダムの見学②



「水循環システム」について勉強



浅瀬石川第1頭首工を見学



樋の口浄水場を見学



五幾形揚水機場を見学